

平成24年度第2回江別市立病院経営健全化評価委員会(平成25年2月26日)の概要

平成24年度4月から1月までの経営状況、医師数の状況、平成25年度病院事業会計予算案の概要及び公立病院改革プラン収支計画と財政計画の比較について事務局から説明を行いました。

平成24年度4月から1月までの経営状況は計画を大きく下回る厳しい状況ではあるが、1月からは改善傾向にあり、2月は病床利用率が85%を超える見込みであることから、単年度資金収支の黒字化を達成するために、職員一丸となって努力していただきたいとの意見がありました。

医師数については25年度以降も一定の診療体制が確保できる見込みではあるが、引き続き医師確保に向けての努力をするほか、医師の勤務環境改善に向けて配慮するよう意見がありました。

平成25年度の予算案については、24年度と比較し業務量は低下するものの、単年度資金収支の黒字化を確保し、引き続き診療体制の充実のために人員の確保や効果的な医療機器の購入（特に電子カルテの整備）について説明を行いました。

また、公立病院改革プランについては、単年度資金収支額等の目標設定が高い項目があり、達成が困難になっていることから、より現実に即した目標値を設定し努力する必要があるとの意見がありました。